

マイコプラズマ感染症

特徴

やまさき小児科

- ・**6歳以上**に多く、大人にも感染することがあります
- ・症状としては咳・熱・だるさなど、風邪と同じような症状です
- ・しつこい咳が**特徴**で、**3~4週間続くこともあります**（早めの抗生剤内服がおすすめです）
- ・肺炎になるのは全体の3~10%です
- ・肺炎や気管支炎・脱水症などを合併して入院が必要になることもあります
- ・まれに皮膚に発疹が出ることもあります



検査

- ・鼻からの検査です
- ・検査結果が出るまでに1日~2日かかりますので、必要時や希望があれば検査をします。
(結果は電話 or 再受診) ※結果連絡は携帯番号からかかってきます。
- ・**検査の信頼性がやや低いため、かかっていても「陰性」とされることがあります**
- ・結果に関わらず、マイコプラズマが疑わしければ下記の治療を行います



治療

- ・マイコプラズマに効く抗生剤の内服をします
- ・**後日結果が陰性と判定されても、抗生素は飲み切って大丈夫です**



登校・登園基準

- ・熱が下がり症状が軽減したら登校・登園OKです



おうちでの過ごし方

- ・本人も家族もこまめに手洗い・うがいをしましょう
- ・熱と咳の症状で水分や食事をとりづらくなることがあります
→低血糖や脱水を防ぐためにも糖や塩分を含む水分補給をしましょう
- ・食事が摂れない時には のどがしがよく、食べられるものを少しづつ食べるようになります
- ・38.5°C以上の熱が続いたり 38°C程度でもぐったりしている様子があれば解熱鎮痛剤を使ってOKです

